



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2014～2015 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「心に響き 心に残り そして心が熱くなる」

◆会長 永家 将嗣 ◆幹事 高原 清人 ◆会報委員長 岩垣津 亘 ◆会報担当 和田 良博

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1012 回	51 名	50 名	41 名	—	82.00%
前々回 1010 回	51 名	50 名	48 名	0 名	96.00%

<点 鐘> 会長 永家 将嗣
<ロータリーソング> 奉仕の理想
<高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>
<本日のビジター>
Bern RC(スイス)Steinlin Walter 様



<本日のゲスト>
国際ロータリー第 2630 地区
濃飛グループガバナー補佐 兼松 政則 様

<会長の時間> 会長 永家 将嗣

皆さんこんにちは
本日はガバナー補佐訪問例会で兼松 AG にお越し頂いております。兼松 AG には後ほど卓話をよろしくお願い致します。
また本日は植木様にオブザーバーでご出席いただいておりますのでよろしくお願いします。
新入会員のご紹介ですが、うぐいすファミリー歯科の鷲塚英雄さんです。26 日にはオリエンテーションを行いました。8 月 25 日に入会セレモニーを行おますのでよろしくお願いします。またオリエンテーションには高原幹事を始め 剣田さん清水さん新井さんには色々お話を頂きありがとうございました。
さて昨日は岐阜都ホテルにて財団研修セミナーが開催され、剣田ノミニー・岩本ロータリー財団委員長と私の 3 人で出席してきました。
このセミナーはガバナーが招集をかけロータリー財団委員長と会長が補助金について研修を受け補助金事業の参加に興味を持たせるものです。またこの研修に参加されないと地区補助金を受けることが出来ません。
今回の研修で RI 第 2 ゾーン R 財団地域コーディネーターの江崎様も出席され財団の目的をお話されました。

1. クラブ強化のサポート
2. 奉仕力を付けるフューチャービジョン (未来の夢計画)
3. 認知度を高める・公共イメージアップ
そして気になるお話がありました。昨年までポリオ撲滅もあと 1% で 3 カ国に絞られたというお話でしたが、今年 5 月に WHO はパキスタン・カメルーン・シリアなど 10 数カ国でポリオの感染拡大が広がり「緊急事態宣言」を受けたとの事でした。
今後の対応が気にかかるところです。
それでは本日もよろしくお願いします。

<幹事報告> 幹事 高原 清人

- ◎R I 本部より
 - ・ザ・ロータリーアン誌
- ◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
 - ・ロータリーレートについて 8 月 1\$ ⇒ 102 円
 - ・2013 年手続要覧訂正について
 - ・卓話原稿について
 - ・夏期休暇について
 - 8 月 13 日 (水) ～ 8 月 15 日 (金) まで
(ガバナーエレクト事務所/地区事務所同様)
- 高山西ロータリークラブより
 - ・例会変更のお知らせ
 - 8 月 8 日 (金) 19:00～ 納涼浴衣例会 宝生閣
 - 8 月 15 日 (金) 休会 定款により
- ロータリー米山記念奨学会より
 - ・ハイライトよねやま 172 号
- <高山市教育委員会学校教育課より>
 - ・「高山市キャリア教育を考える会」報告
- <高山市青少年育成市民会議より>
 - ・26 年度少年野外活動協力のお祝い
- <はぐるま会より>
 - ・平成 25 年度収支決算書
- <活動計画書>
 - ・高山 RC
 - ・可茂 RC
 - ・下呂 RC
 - ・高山西 RC
 - ・桑名北 RC
 - ・平塚湘南 RC
- <会報>
 - ・高山 RC
 - ・可茂 RC

＜ガバナー補佐訪問＞

国際ロータリー第 2630 地区

濃飛グループガバナー補佐 兼松 政則 様

濃飛グループより AG となりました、可茂ロータリーの兼松と申します。本来はチャーターメンバーやロータリー歴の長い方が適任でしたが、再三の依頼があり、根負けでやる事に決定しました。本日、第一回目訪問宜しくお願い致します。



会社はテクノ・ラインと申します。職種は機械、電気設計を請負と派遣で平成元年設立をして現在に至っています。私が機械の設計に興味あり、当時ドラフターで設計したところから始まっています。5名から始めた会社です。ロータリー1998年7月1日(13期)に入会させていただきました時、会員数43名、偶然にも我社テクノ・ラインも同人数でしたので、この先励みにもなりますし、競争出来る目標もあり、楽しみでもありました。そして今年、我社は25周年を迎える事が出来、社員も200名を超えることが出来、ロータリーと共に成長でき、つくづく感謝の念でいっぱいです。

まだまだ先の事と思っていました AG 訪問は早いもので昨年時期 AG としての研修を今年の6月までに10回程、出席させてもらいました。ガバナー補佐の研修から始まり、ロータリー財団、地区委員会セミナー等、そして桑名シティホテルにて引継会まで色々勉強させていただき、少しは分かったつもりですが何を覚えてきたか、あれもこれも話さなくてはと思うと、いまだに整理がつかない状態です。各クラブ様よりの、会長のエレクト研修(ペッツ)の発表と重複する箇所、多々あるかと思いますが、まず今期の RI 会長ゲイリー C.K. ホワン氏は台湾の台北ロータリークラブの会員で38年の長きに渡りロータリーに貢献されています。ロータリー以外にも目覚ましい活躍をされてみえます。RI 会長のテーマとして「ロータリーに輝きを」ロータリーの奉仕を人々と分かちあい、クラブをより強力なものとし地域社会でロータリーの存在感を高め、現会員を維持し、会員数130万人(現在は120万弱)目標を達成することによりロータリーを輝かせてください。会員増強、そして地元の人々に参加してもらい、ロータリーを広める為「ロータリーデー」を開催してロータリーを知ってもらいましょう。ロータリーはそれ自身がファミリーであり、家族のためのものですから配偶者や家族に入会を勧めると共に幅広く声をかけ、ロータリーを魅力的で興味をそそるようになる為何が出来するか考えてみましょう。更に、ポリオを撲滅して「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史に1ページを刻みましょう。

要約すれば

1. 会員増強
2. ロータリーデーの開催
3. ポリオ撲滅

2014-15年度34000を超える地域社会でクラブを強化し「ロータリーに輝きを」(LIGHT UP ROTARY)もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができる

でしょう。そして、国際ロータリー第2630地区2014-15年度ガバナー石垣智康氏のテーマ「耳を傾け、ロータリーに活力を」新会員に耳を傾けたり、例会について語る人に耳を傾けたり、ロータリーを改善したいと思う人に耳を傾けたりと、まずは話を聞くところから出発したいと思いました。自分自身の心に火を着け、輝く事で理念のロータリーから行動するロータリーへと発展しクラブが最も輝く事を願います。それが「耳を傾け、ロータリーに活力を」の具体的な説明です。

そして、ロータリークラブの一番大切な事、それは例会出席であります。まず例会出席こそが友情を深め、情報交換も出来、職業奉仕の精神であり、本来のロータリーの基本であります。

会員増強(会員数の変動 2630 地区)

ピーク時	1997～8年度	5120名	
現在	2014～5年度	3157名	1963名 減少
但し	2012～13年度	3060名	でしたので100名近い増員となり大きな成果であり、今後に期待出来ます。

濃飛グループ

ピーク時	1996～7年度	438名	
	1997～8年度	437名	
現在	2014～5年度	241名	197名減少です。

今年はIMも10月12日に実施が決定しています。奇しくも私の誕生日です。奥村実行委員長が頑張ってください、会長と共にほぼ方針が決まりつつあります。第一部は大庭氏の「ツナミ」と題して流木で造ったバイオリン講演15分くらい、そして我クラブの平井さんの娘さんのバイオリンの演奏、ピアノは奥様を依頼、45分くらいの時間です。第2部乾杯の前で藤吉会長の紹介の元、美濃市より「にわか」を20分～30分漫才をやっていただきます。その後、懇親会で締めとなる計画です。

近隣4RCは恒例により、全員登録となっています。高山方面のRCのメンバーの方々も半数以上登録出席をお願いI.Mを成功させたいと思いますので、皆さんの協力を節にお願い致します。又、一週間後で忙しいですが、10月18日～19日は岐阜グランドホテルにて地区大会を開催します。石垣ガバナー成功の為に、皆さんこそぞって参加お願い致します。

＜本日のプログラム＞クラブアッセンブリー

高山中央未来委員長

中田 学

【基本方針】

昨年度からクラブは長期戦力計画を「職業奉仕に徹する事」とし、CLPを一部導入しました。また、手続要覧が改訂され、CLPや細則についての検証も必要となっています。

- ・組織が、活力に溢れ、未来へ向かって大いに発展するよう検証します。
- ・継続実施される事業の取扱いと管理についての検討をします。

【活動計画】

2014年12月8日 クラブ活力テスト

【予算】

3,000円



会報委員長

岩垣津 亘

【基本方針】

例会報告、各委員会の活動、通知事項を掲載しロータリー活動の理解と関心を深めて頂くよう努める。

【活動計画】

会報は原則 A4 版 2 頁～4 頁とし、例会ごと発行し委員 11 名で協力し当番制で行う。

【予算】

会報作成企画料 @12,960×42 回	544,320 円
例会写真保存資料作成料 (年間)	16,200 円
<u>予算合計</u>	<u>560,520 円</u>



会報委員がスムーズに仕事が出来ますようにスピーチされる方は原稿の提出をよろしくお願ひします。またゲストスピーチの方への原稿依頼も出来るだけお願ひして頂きますようよろしくお願ひします。クラブの大切な記録として会報があります。1年間ご協力をよろしくお願ひ致します。

広報/情報/IT 委員長

高木 純

広報/情報/IT 委員会担当の高木 純です。

副委員長 周信夫さん、委員に大原さん、堀口さんです。全員バイリンガルな方が揃っております。



【基本方針】

前任の津田さんのやってこられたことを継承していきます。

【活動計画】

今年祖は、交換留学生のビクトリアが来ますので、彼女にも積極的に広報活動に参加して頂きたいと思っています。世界にロータリークラブ、ロータリーの活動をアピールしていき、世界における人々の総理解を進め世界平和に寄与できるようになれば良いと思います。4月中旬には広報担当例会があるので、高山を積極的に広報して頂いている機関、会社等から人選してスピーチをお願いしたいと思ひます。

ロータリー情報副委員長

足立 常孝

【基本方針】

会員にロータリーについての知識と理解を深める情報を提供する。また、新会員を中心にロータリーに関する知識やルールなどについて勉強会を行う。

また、2013 年手続き要覧に照らし合わせ、定款・細則の検討を行う。



社会奉仕委員長

谷口 欣也

今年度、社会奉仕委員長を務めさせていただきます谷口でございます。副委員長に都竹太志さん、委員は村瀬祐治さんと中田学さんの4名で運営させていただきます。

【基本方針】

「この地域の社会的弱者支援の現状を知り、我々が可能な支援の在り方を考え、実践するためのきっかけをつくる。」とさせていただきます。

【活動計画】

委員会としては例会を2回担当させて頂くほか、委員長の私は飛騨慈光会後援会の平成26年度役員として4月より広報部の運営委員を務めさせて頂いております。

例会の1回目は2月第2例会で、「高山山ゆり園等を訪問し、社会法人 飛騨慈光会職員から活動の説明を受けた後、施設内を見学」を、2回目は6月第1例会で「この地域で弱者支援を行う法人(高山社会福祉協議会等=未定)から職員を招き、その活動の説明を受ける」ことを予定しています。

飛騨慈光会後援会の役員としては5月17日(土)に後援会総会、7月11日(金)に運営委員会に出席し、9月24日(水)には石川県加賀市にある南陽園へ施設見学に行く予定です。

広報部としての活動は6月5日(木)に運営委員会に出席し、6月13日(金)には広報誌に掲載するためのインタビューの実施を得て、今月、平成18年度にスタートした「後援会だより」の第8号を発行いたしました。

1年間宜しくお願ひ致します。



環境保全委員長**堀口 裕之**

副委員長に和田良博さん、委員に岡崎壮男さんの3名が委員会メンバーです。

【基本方針】

名水と緑景観の保全や地球温暖化対策に関する諸問題を正しく認識し、豊かで快適な環境の保全に寄与する事を目的とする。

【活動計画】

平成27年4月27日(月)

環境保全のみならず環境の向上に「何かひとつ」寄与する為に講師例会

【予算】

5,000円



昨年度からロータリー財団の未来の夢計画による新しい補助金制度が本格運用され、我がクラブでは早速奉仕プロジェクト委員会が「親子で体験春慶塗マイ箸づくり」においてこの新地区補助金を活用していただきました。今年度も同じく工業高校にて「親子で体験行燈づくり」を計画され地区補助金を活用していただく予定です。

寄付金のお願いですが、今年度から財団の一人あたりの寄付目標が150ドルに引き上げられました。誠にお願いしにくい事ですが、今年から皆様のご厚意により一人100ドル+αの寄付を頂きまして少しでも目標の150ドルに近づけようという事にさせて頂く事に致しました。皆様のご理解とご協力で少しでも多くの寄付金を集める事ができまうよう宜しくお願い致します。

**国際奉仕副委員長****津田 久嗣**

今年度の国際奉仕委員会は、委員長に長瀬さん、委員に高木さん、高殿さんの4名で取り組んで参ります。

**【基本方針】**

「国際理解・親善・平和を推進する」と定め、基本方針に基づいた事業を実施してまいります。

【活動計画】

今年度は2回の担当例会を頂き、1回目は平成26年12月15日に、交換留学生による卓話として、皆様にホームステイの受け入れをして頂くビクトリアさんより、お話を頂きます。

2回目は平成27年3月9日で、講師は未定ですが、「国際理解を深める」というテーマにて講師例会を予定しております。

【予算】

25,000円

皆さまどうぞよろしくお願い致します。

ロータリー財団委員長**岩本 正樹**

副委員長に今井さん、委員は渡辺さん、周さんの4人で運営致します。

米山奨学委員長**永井 信次****【基本方針】**

米山記念奨学事業の目的・意義を伝達し、理解を深める。

【活動計画】

米山月間である10月に、米山奨学生を招き、スピーチを頂く事により普段馴染みのないこの事業を身近に感じてもらう。

そもそも、この米山記念奨学会とは日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリーアンの寄付金を財源として奨学金を支給して、支援する民間の奨学団体です。毎年約700人の留学生を採用する日本最大級の奨学団体です。寄付金の額は年間約13億円です。ちなみに国内のRC数は2300、会員数は約9万人で単純に計算すると、1人当たり14,400円くらい。

只、この寄付金には普通寄付と、特別寄付があり、普通が概ね4,000円、特別は個人が奨学事業に前向きかつ裕福なときの寄付があります。

当クラブは近年、4,000円を人頭分、普通寄付をしています。

当クラブの米山奨学会への寄付累計は今年の2月現在で

普通寄付金 4,358,500円

特別寄付金 14,044,000円

合計 18,402,500円

と大いに貢献していると思います。



職業分類/会員選考委員長

島 良明

副委員長 西倉良介さん、統括は会員基盤増強維持委員長の
新井信秀さんです。

【基本方針】

- ① 会員選考に関しては、会員維持増強委員会と共同で行
って、会員増強に努める。
- ② 職業分類については、まず会員の職業分類を、会員自
身が見直して、職業奉仕の意識を高める。

【活動計画】

9月29日が、担当例会です。会員増強に関する調査をす
る事と、会員自身の職業分類を見直しますが、時間が余り
ますので、会員スピーチを行います。

『私の職業の良いところ』というテーマで、2名の方にお
願いしたいと思っております。



青少年育成委員長

岡崎 壮男

青少年育成委員会ですが、委員長に岡崎、副委員長に高橋
さん、委員に松之木さん、岩垣津さん、西倉さん、前越さ
んの6名です。

【基本方針】

今年度より、「キャリア教育を考える会」が主催する「出
前講座」をサポートし、今後この活動の継続普及を図る事
です。

【活動計画】

平成26年7月8日に丹生川中学校に出前講座
(13名出席していただきました。)

平成26年9月8日に講師例会として、下田さんに、「キャ
リア教育を考える会」の活動状況等を報告してもらい、次
に、岡崎が丹生川中学校で行われた出前講座について生徒
さんの意見を紹介しながら報告をします。

高山市青少年育成市民会議へ補助金寄付(予算 30,000
円)を行ないます。



<ニコニコBOX>

本日はお世話になります。

ガバナー補佐 兼松 政則 様

兼松ガバナー補佐、スタインリンさん、オブザーバー出席
の植木信吾さんのご来訪を歓迎申し上げます。来週より移
動例会が続きます。皆様のご協力をお願い致します。

理事役員一同

ガバナー補佐兼松政則様、本日はご苦勞様です。店舗一部
改装のため7/30まで売り出しを行い、9月中旬頃、松華
堂2階にて石原校長の奥様、宮江里美としての作品展をギャ
ラリー松華堂としてオープンします。皆様ご覧ください。

松之木映一

植木様のご来訪を歓迎申し上げます。入会の日をお待ちし
ています。

増強委員長の 新井 信秀

7/26 次女が嫁ぎました。人生の中では本人も私も大きな
出来事でしたが、あたふたしているうちに一日が終わり、
今頃になって寂しいさが募り始めております。山本前会長
を初め皆様に祝福して頂きありがとうございます。

中田 専太郎

ひだしん本店2階にビジネスに関する様々なご相談を頂
ける窓口として Biz con HIDA (ビズコンヒダ) を開設し
ました。会員の皆様には是非一度ご利用頂きたくよろしく
お願い致します。

大原 誠

ガバナー補佐兼松政則様のご来訪を歓迎申し上げます。オブ
ザーバー出席の植木さんようこそ。入会を楽しみにして
います。そして、スタインリン様、ようこそおいで下さい
ました。高山を楽しんで思い出をいっぱい作って下さい。

平林 英一